

# 2026年9月期第2四半期決算

---

**MRI** 三菱総合研究所

2026年4月27日

**1** 2026年9月期第2四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

## 2026年9月期 第2四半期のまとめ

- 連結増収増益： 売上高は3期、経常利益は4期ぶりの増収増益
- TTC増収増益： 旺盛な需要・前期末からの豊富な受注残を背景に、増収増益
- ITS増収減益： 一般産業・サービス事業等で増収も、不採算影響で減益

	実績	前期比
売上高	725億円	+71億円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC):前期末からの豊富な受注残高の繰越を背景に、旺盛な需要のもと官公庁向け中心に民間向けも好調持続し増収</li> <li>● ITサービス(ITS):金融・カードの決済領域、文教・人材関連のサービス事業、一般産業向け伸長により増収</li> </ul>	
経常利益	100億円	+24億円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TTC:増収効果の一方で経費微増にとどまり、増益</li> <li>● ITS:不採算案件による受注損失引当金の計上により減益</li> </ul>	
純利益	84億円	+35億円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資有価証券売却益の計上</li> </ul>	

## 第2四半期連結決算 <前同比>

【百万円】

	2025年9月期 2Q	2026年9月期 2Q	前期比	
			増減額	増減率
売上高	65,437	72,571	+7,133	+10.9%
売上総利益	16,439	19,276	+2,837	+17.3%
売上総利益率	25.1%	26.6%	+1.4P	
販売費及び一般管理費	9,619	9,982	+363	+3.8%
営業利益	6,819	9,293	+2,474	+36.3%
営業利益率	10.4%	12.8%	+2.4P	
経常利益	7,640	10,094	+2,453	+32.1%
経常利益率	11.7%	13.9%	+2.2P	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,881	8,470	+3,588	+73.5%
1株当たり四半期純利益(円)	310.07	537.68	+227.61	+73.4%

# シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

【百万円】

	2025年9月期 2Q	2026年9月期 2Q	前同比	
			増減額	増減率
売上高	28,914	33,562	+4,648	+16.1%
営業利益	4,995	7,774	+2,779	+55.7%
営業利益率	17.3%	23.2%	+5.9P	
経常利益	5,648	8,431	+2,782	+49.3%
受注高	31,207	39,263	+8,055	+25.8%
受注残高	28,094	35,918	+7,823	+27.8%

## 主なポイント

- 官公庁の医療・介護関連、DX・デジタル化対応案件や民間向け経営戦略・マーケティング、AI・半導体関連案件等が寄与
- 増収の一方で経費微増にとどまり前同比大幅増益
- 引き続き需要旺盛、受注は官公庁中心に順調に積み上がり(MRIでは、政府の戦略分野に沿った受注が好調⇒P17)

# ITサービス(ITS)

【百万円】

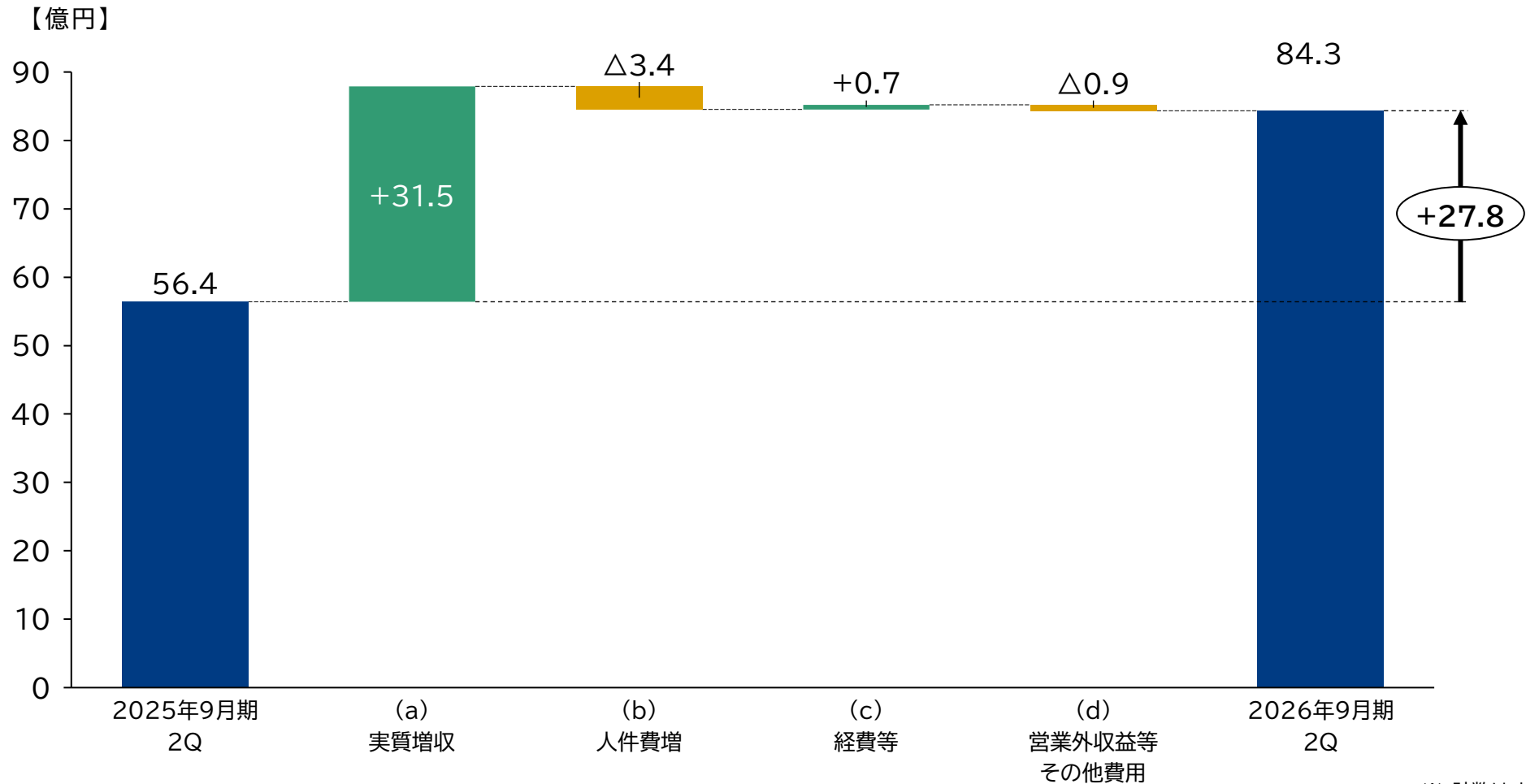
	2025年9月期 2Q	2026年9月期 2Q	前同比	
			増減額	増減率
売上高	36,523	39,009	+2,485	+6.8%
営業利益	1,832	1,521	△310	△17.0%
営業利益率	5.0%	3.9%	△1.1P	
経常利益	1,999	1,665	△333	△16.7%
受注高	36,225	34,867	△1,358	△3.7%
受注残高	49,307	46,173	△3,134	△6.4%

## 主なポイント

- 金融・カード分野の大型案件の完了影響を、決済関連案件等を中心に、民間向け(人材・文教向けサービスや基幹システム関連等)で打ち返し増収
- 不採算案件の発生に伴う受注損失引当金計上に伴い減益
- 受注高、受注残高ともに金融・カード分野の大型案件完了に伴い減少

## TTC経常利益の変動要因 <前同比>

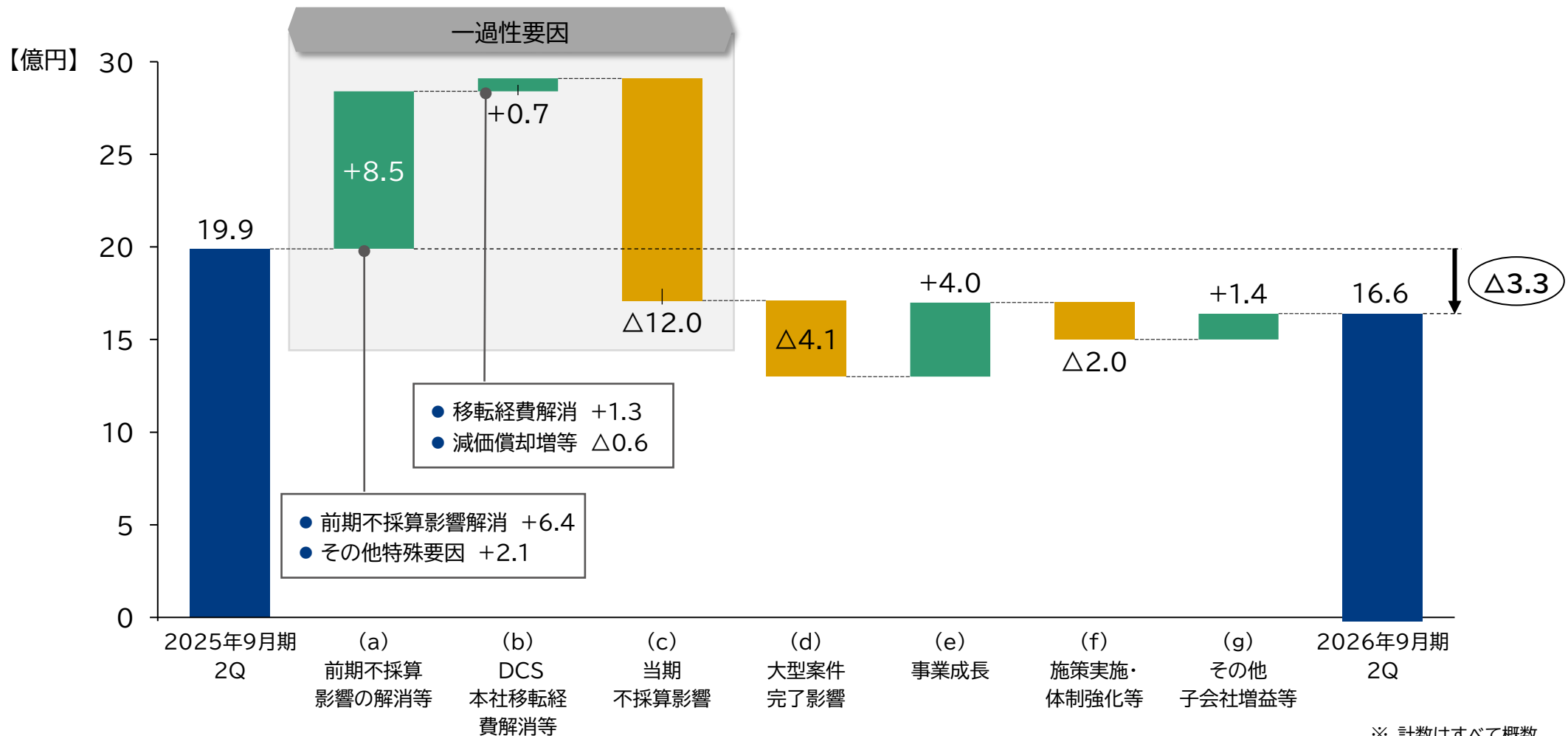
- TTCは(a)実質増収に対し、(b)～(d)の損益変動が小さく、経常利益大幅増
- 期初想定のAI投資や研究開発投資等は今後順次実施見込み



※ 計数はすべて概数

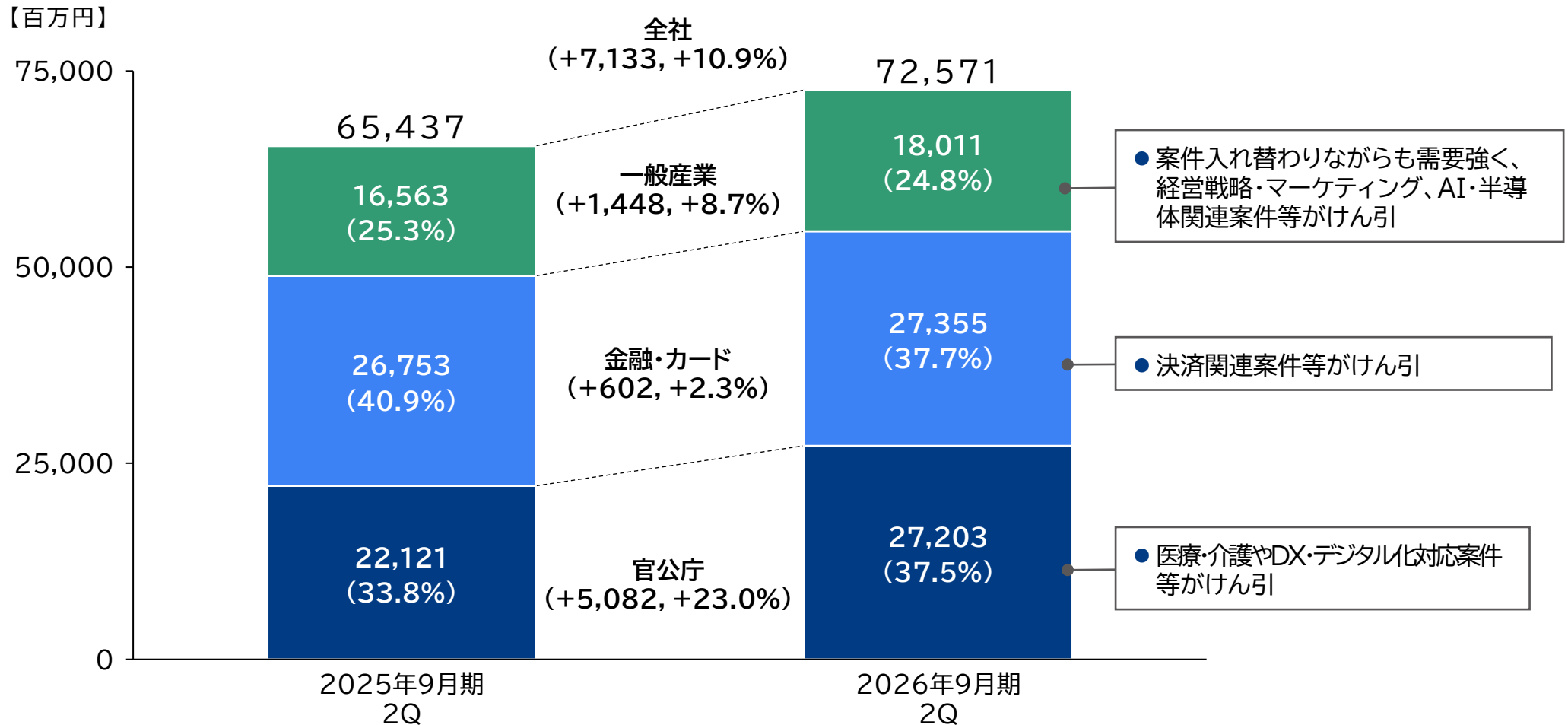
# ITS 経常利益の変動要因 <前同比>

- (a)～(b)の前期上期における一過性要因解消等の一方、(c)の当期不採算案件影響発生
- (d)の大型案件完了影響を、(e)の事業成長(決算関連、人材・文教関連等)影響でほぼ打ち返し
- 期初想定の業務効率化は、下期以降の効果発現見込む



## 顧客業種別売上高 <前同比>

- 前期から繰り越してきた豊富な受注残高及び旺盛な需要を背景に、全顧客業種で増収



## セグメント別・顧客業種別売上高 <前同比>

【百万円】

		2025年9月期 2Q	2026年9月期 2Q	前同比	
				増減額	増減率
TTC	官公庁	21,238	25,067	+3,828	+18.0%
	金融・カード	1,268	1,790	+522	+41.2%
	一般産業	6,407	6,704	+296	+4.6%
	<b>TTC 計</b>	<b>28,914</b>	<b>33,562</b>	<b>+4,648</b>	<b>+16.1%</b>
ITS	官公庁	882	2,136	+1,253	+142.0%
	金融・カード	25,485	25,565	+79	+0.3%
	一般産業	10,155	11,307	+1,151	+11.3%
	<b>ITS 計</b>	<b>36,523</b>	<b>39,009</b>	<b>+2,485</b>	<b>+6.8%</b>
<b>合計</b>		<b>65,437</b>	<b>72,571</b>	<b>+7,133</b>	<b>+10.9%</b>

## 第2四半期進捗率の推移(セグメント別・売上+受注残)

- 2Q売上+当期売上予定の受注残高の合計の、当期売上予想に対する進捗率は89.2%
- 進捗率は前同比+3.3Pt

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期売上 <sup>(※1)</sup>	50,462	45,419	47,090	51,500
	2Q売上実績 + 受注残高 <sup>(※2)</sup>	45,556	39,889	40,407	47,647
	2Q進捗率	90.3%	87.8%	85.8%	92.5%
ITS	通期売上 <sup>(※1)</sup>	71,663	69,942	74,367	73,500
	2Q売上実績 + 受注残高 <sup>(※2)</sup>	61,600	62,191	63,893	63,830
	2Q進捗率	86.0%	88.9%	85.9%	86.8%
合計	通期売上 <sup>(※1)</sup>	122,126	115,362	121,458	125,000
	2Q売上実績 + 受注残高 <sup>(※2)</sup>	107,157	102,080	104,300	111,477
	2Q進捗率	87.7%	88.5%	85.9%	89.2%

※ 1: 2023年9月期~2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値(2026/4/27修正)

※ 2: 2Q末時点の受注残高(当期売上予定分)

## (参考)第2四半期進捗率の推移

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
売上高	通期実績 <sup>(※)</sup>	122,126	115,362	121,458	125,000
	2Q実績	73,325	66,534	65,437	72,571
	2Q進捗率	60.0%	57.7%	53.9%	58.1%
営業利益	通期実績 <sup>(※)</sup>	8,688	7,060	8,010	8,400
	2Q実績	9,291	8,601	6,819	9,293
	2Q進捗率	106.9%	121.8%	85.1%	110.6%
経常利益	通期実績 <sup>(※)</sup>	10,002	8,147	9,734	9,500
	2Q実績	9,836	9,341	7,640	10,094
	2Q進捗率	98.3%	114.7%	78.5%	106.3%

※ 2023年9月期～2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値(2026/4/27修正)

## (参考)第2四半期進捗率の推移(セグメント別・売上高)

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期実績 <sup>(※)</sup>	50,462	45,419	47,090	51,500
	2Q実績	36,236	30,433	28,914	33,562
	2Q進捗率	71.8%	67.0%	61.4%	65.2%
ITS	通期実績 <sup>(※)</sup>	71,663	69,942	74,367	73,500
	2Q実績	37,088	36,101	36,523	39,009
	2Q進捗率	51.8%	51.6%	49.1%	53.1%

※ 2023年9月期～2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値(2026/4/27修正)

## (参考)第2四半期進捗率の推移(セグメント別・経常利益)

【百万円】

		2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期
TTC	通期実績 <sup>(※)</sup>	4,428	4,237	5,715	5,800
	2Q実績	6,102	6,233	5,648	8,431
	2Q進捗率	137.8%	147.1%	98.8%	145.4%
ITS	通期実績 <sup>(※)</sup>	5,560	3,909	4,037	3,700
	2Q実績	3,728	3,104	1,999	1,665
	2Q進捗率	67.1%	79.4%	49.5%	45.0%

※ 2023年9月期～2025年9月期:実績値、2026年9月期:業績予想値(2026/4/27修正)

## (参考)事業別の進捗(MRI)

- TTCの中核を構成するMRI単体の集計値による事業別の実質の売上高<sup>※</sup>の見通し及び進捗

【単位:億円】

		2026年9月期 実質の売上高 <sup>※</sup>		
		通期見通し <sup>注)</sup>	2Q実績 (前同比伸び率)	進捗率 <sup>注)</sup>
合計		288	182 (+17%)	63%
集中 領域	医療・介護	34	23 (+27%)	67%
	エネルギー・ サステナビリティ	51	28 (+7%)	55%
	ビジネス アナリティクス・AI	24	14 (+43%)	61%
総合 領域	公共	108	74 (+16%)	69%
	経営・DX	69	41 (+14%)	59%

注)本表における通期見通し及び進捗率は、期初計画値にもとづく

※「実質の売上高」とは:

MRIの売上高は、大型実証事業等、外部流出分の大きな案件の多寡により表面上の売上高が大きく変動するため、外部流出分を除いた金額を、「実質の売上高」と定義

※ 計数はすべて概数

## (参考)事業別の進捗(ITS)

【単位:億円】

		2026年9月期 売上高		
		通期見通し	2Q実績	進捗率
合計		750	395	53%
成長	公共・電力	70	35	50%
	HR・文教	80	50	63%
	金融	180	85	47%
	DA	30	5	17%
主力	決済	80	35	44%
	ERP	20	5	25%
	産業	50	25	50%
	カード	180	115	64%
その他(子会社)		80	45	56%

※ 計数はすべて概数

## 官公庁事業における戦略分野からの受注状況(MRI)

- 日本成長戦略本部における17の戦略分野(⇒次頁参照)について、MRIにおける受注は順調に増加
- 受注全体に占める17分野の割合も、件数・受注額ともに増加
  - 件数は前同比約60件増
  - 受注額は同、約90億円増
  - 受注額・件数ともに全体として増加

	MRIにおける官公庁事業の受注状況					
	2025年9月期 2Q		2026年9月期 2Q		増減	
17分野からの 受注件数・受注額	210件	170億円	260件	250億円	+60件	+90億円
その他の 受注件数・受注額	110件	60億円	100件	40億円	△10件	△20億円
合計	320件	230億円	370件	290億円	+50件	+60億円
17分野の占める割合	65%	73%	72%	87%	+7Pt	+13Pt

注)当社が官公庁から受注した案件名をもとにAI等を用いて分類・整理し、17分野に該当する案件を集計した

※ 計数はすべて概数(1の位を四捨五入)

## (参考)政府の戦略分野と当社の強み・実績

- 2025年11月、日本成長戦略本部により17の戦略分野が決定
- 当社は、その多くの分野に実績や強みを有する

### 重点投資対象17分野

① AI・半導体	⑩ 防災・国土強靱化
② 造船	⑪ 創薬・先端医療
③ 量子	⑫ フュージョンエネルギー(核融合)
④ 合成生物学・バイオ	⑬ マテリアル(重要鉱物・部素材)
⑤ 航空・宇宙	⑭ 港湾ロジスティクス(物流)
⑥ デジタル・サイバーセキュリティ	⑮ 防衛産業
⑦ コンテンツ	⑯ 情報通信
⑧ フードテック	⑰ 海洋
⑨ 資源・エネルギー安全保障・GX	

1 2026年9月期第2四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

## 2026年9月期 連結業績予想（期初予想から変更）

### ■ 業績予想を上方修正（次頁参照）

- 好調なTTC業績及び受注状況を勘案し、同セグメントの売上・利益を上方修正
  - 前期並みの下期高稼働維持にはリスクがあることを勘案
  - AI投資等次期中計に向けた必要な施策を実施予定
    - ・ 全社員が最先端のAIエンジンを業務利用できる体制
    - ・ 「AI共創推進センター」を設置し、全社的活用を推進
- ITSは、不採算案件影響はあるものの、年金数理差異が期末に前期比プラス（費用減）で計上されることを想定し、予想維持
  - 年金数理差異の費用算出には株式市況や長期金利が影響
  - 長期金利が金利2%超と上昇局面にあることから、期初に前期比同水準で想定していた年金数理差異の費用減を織り込み
- 投資有価証券売却益の計上を反映し、純利益を上方修正
- 配当は現時点で据え置き

## 2026年9月期 連結業績予想 (期初予想から変更)

【百万円】

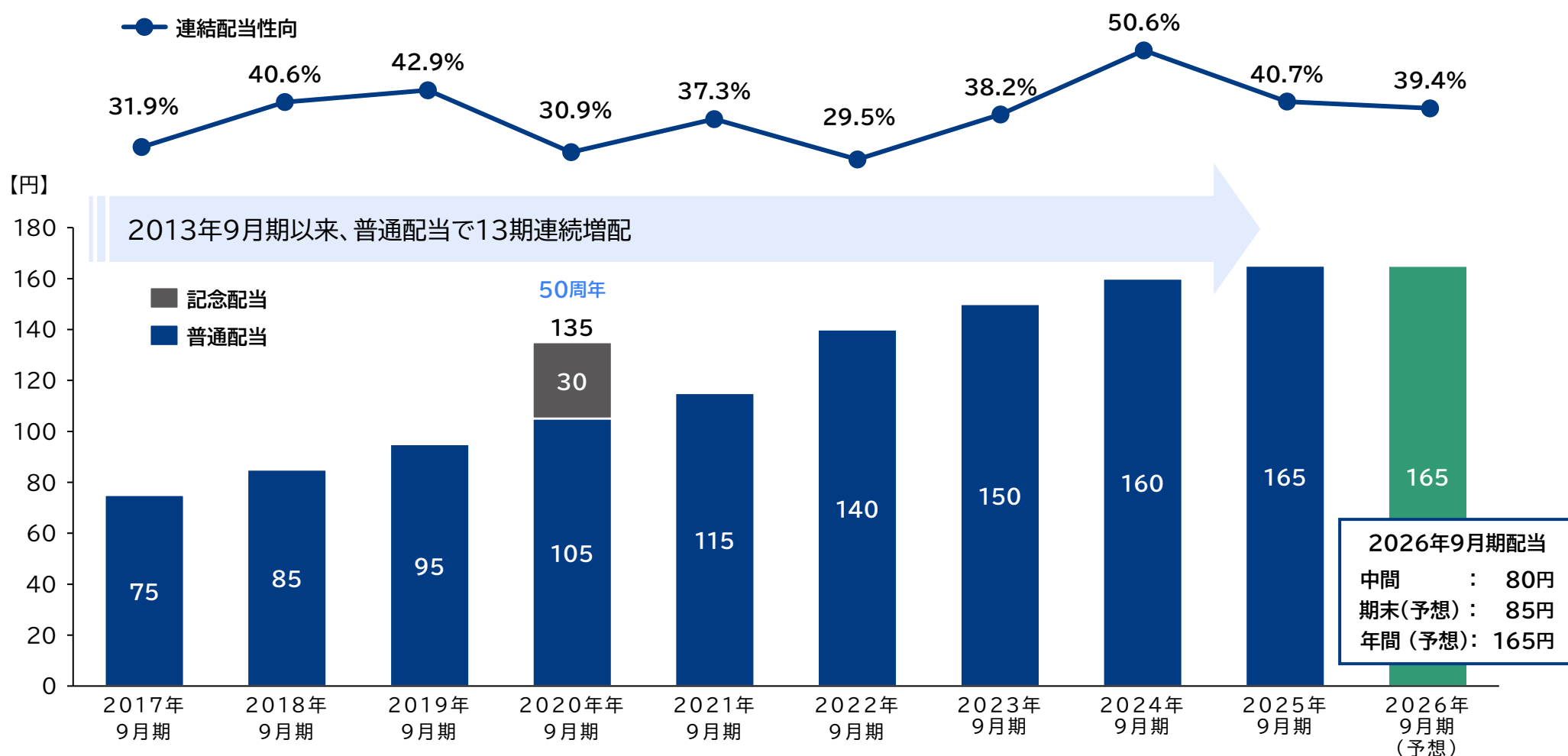
	2025年 9月期 実績	2026年 9月期 予想	前期比		前回予想	前回 予想比
			増減額	増減率		
売上高	121,458	125,000	+3,541	+2.9%	122,000	+3,000
TTC	47,090	51,500	+4,409	+9.4%	48,500	+3,000
ITS	74,367	73,500	△867	△1.2%	73,500	—
営業利益	8,010	8,400	+389	+4.9%	7,500	+900
営業利益率	6.6%	6.7%	+0.1P		6.1%	+0.6P
経常利益	9,734	9,500	△234	△2.4%	9,000	+500
TTC	5,715	5,800	+84	+1.5%	5,300	+500
ITS	4,037	3,700	△337	△8.3%	3,700	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,386	6,600	+213	+3.3%	5,800	+800
1株当たり当期純利益(円)	405.55	418.88	+13.33	+3.3%	368.26	+50.62
ROE	9.2%	8.9%	△0.3P		8.0%	+0.9P

※ 計数はすべて概数

# 2026年9月期 配当予想 (期初予想から変更なし)

## 配当方針

継続的な安定配当を基本に、業績や将来の資金需要、財務健全性のバランス等も総合的に勘案し決定。配当性向40%を目安とする。



1 2026年9月期第2四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

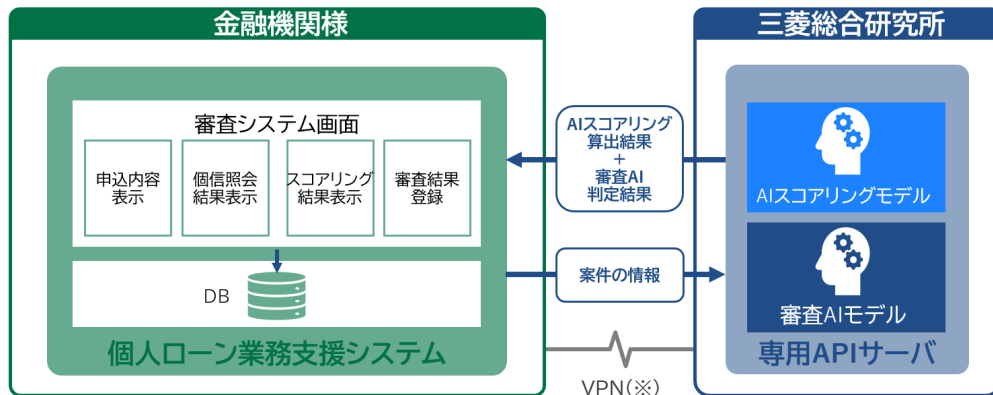
4 Appendix

# トピックス: AIを活用した事業展開

## めぶきフィナンシャルグループに「AIスコアリングモデル」の実務提供開始(2026/4/1)

<https://www.mri.co.jp/news/press/20260401.html>

- 審査AIサービスとの連携により、信用リスク評価と審査判断の高度化を支援
- AIスコアリングモデル:  
信用リスクを数値化する“分析エンジン”
- 審査AI:  
スコア等を踏まえて審査判断を行う意思決定の支援システム

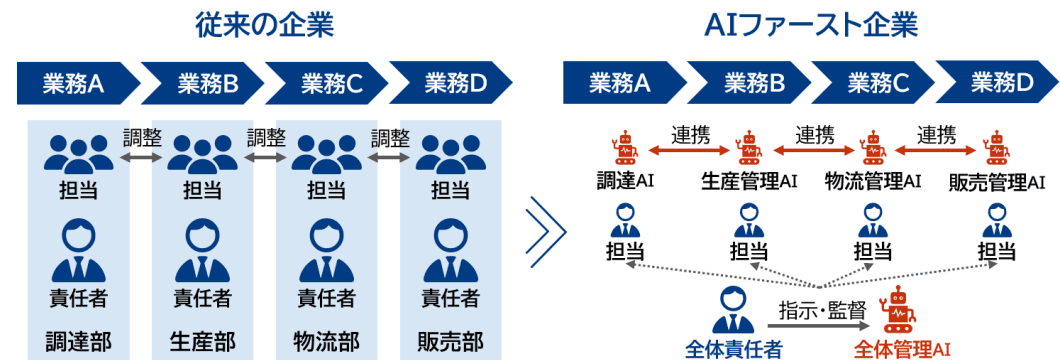


※ VPN(Virtual Private Network)とは、拠点間を仮想的な専用線で結び、安全な情報のやり取りを可能とする通信技術

## 企業の「AIファースト」への転換を包括的に支援(2026/3/2)

<https://www.mri.co.jp/news/press/20260302.html>

- 企業のAI活用を概念実証段階にとどめず、業務・組織を変革し定着させることを支援:
- 以下の4つのアプローチで実現
  - A:ユースケース探索・具体化
  - B:システム基盤構築・データ整備
  - C:ルール・ガバナンス体制整備
  - D:定着促進伴走



組織内の確認や組織間の調整に無駄が発生  
結果、外部環境の状況把握や変化への対応も不十分

24/365対応・高スピードで高品質なものを  
量産可能に

## トピックス:最近のリリース

日付	タイトル
【TTC】	
2026年4月21日	プラスチック資源循環戦略に関する調査・検討を開始
2026年4月20日	洋上風力と漁業の未来共創に向けた11の提案(第2版)を発表
2026年4月20日	国産グリーン水素のコスト合理性をエネルギー・経済安全保障の観点も踏まえて検証
2026年4月15日	厚生労働省の「介護系スタートアップ支援事業powered by CARISO」を受託
2026年4月14日	電通総研と共同で「日本ロボット・マニピュレーション応用推進協議会(仮称)」設立に向けた準備会を立ち上げ
2026年4月13日	リテール分野でのリスク管理の高度化と持続的な体制構築の両立に向け取り組みを開始
2026年4月6日	MEGURI2040 第2ステージ成果を発表 実証船4隻が国土交通省の自動運航船認証を取得
2026年4月3日	さくらインターネットとデジタルガバメント×ソブリン領域における協業検討を開始
2026年4月1日	めぶきフィナンシャルグループに「AIスコアリングモデル」の実務提供開始

## トピックス:最近のリリース

日付	タイトル
<b>【TTC】</b>	
2026年3月2日	<u>企業の「AIファースト」への転換を包括的に支援</u>
2026年2月24日	<u>気候変動下でのコメ収量の増加に向けたベトナムでの実証を完了</u>
2026年2月16日	<u>GHGプロトコルのScope 2改定案に意見を提出</u>
2026年2月10日	<u>TDSEと日本語のビジネス下でAIがPCを操作する「PC操作エージェント技術」の有効性を確認</u>
<b>【ITS】</b>	
2026年3月16日	<u>【DCS】入試が変わる！「miraicompass」と日本英語検定協会「生涯学習プラットフォーム」が連携</u>

## トピックス:最近のリリース

日付	タイトル
【関連会社】	
2026年3月31日	【JBS】UBE三菱セメントのグローバルITガバナンス強化を支援
2026年3月23日	【JBS】アバナードとAIエージェント活用拡大を見据えた協業を開始
2026年3月16日	【JBS】さくらインターネットと行政システムのデジタル化推進における活動の基本合意書を締結
2026年3月12日	【JBS】デンソー AI 活用でオフィス業務従事者 3万人・利用率 99%の変革を支援
2026年3月12日	【JBS】AI エージェントと協働する「フロンティア企業」への変革を支援

1 2026年9月期第2四半期決算

2 2026年9月期業績予想

3 トピックス

4 Appendix

# 四半期別連結業績

## Consolidated operating results by quarter

【百万円】【Million Yen】

	2024年9月期(FY2024)					2025年9月期(FY2025)					2026年9月期(FY2026)		
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	
売上高 Net sales	27,668	38,865	23,720	25,108	115,362	27,706	37,731	26,185	29,834	121,458	30,899	41,672	72,571
販売費及び 一般管理費等 SG&A expenses	4,319	4,410	4,885	4,744	18,358	4,952	4,666	5,726	5,382	20,728	4,977	5,005	9,982
営業利益 Operating profit	2,037	6,564	(1,542)	1	7,060	1,480	5,339	(186)	1,377	8,010	3,455	5,838	9,293
営業利益率 Operating profit margin	7.4%	16.9%	—	0.0%	6.1%	5.3%	14.2%	—	4.6%	6.6%	11.2%	14.0%	12.8%
経常利益 Ordinary profit	2,437	6,904	(1,201)	7	8,147	1,938	5,702	613	1,479	9,734	3,857	6,236	10,094
経常利益率 Ordinary profit margin	8.8%	17.8%	—	0.0%	7.1%	7.0%	15.1%	2.3%	5.0%	8.0%	12.5%	15.0%	13.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 Profit attributable to owners of parent	1,178	5,033	(1,362)	153	5,003	991	3,889	105	1,398	6,386	2,634	5,835	8,470

# 四半期別セグメント別業績

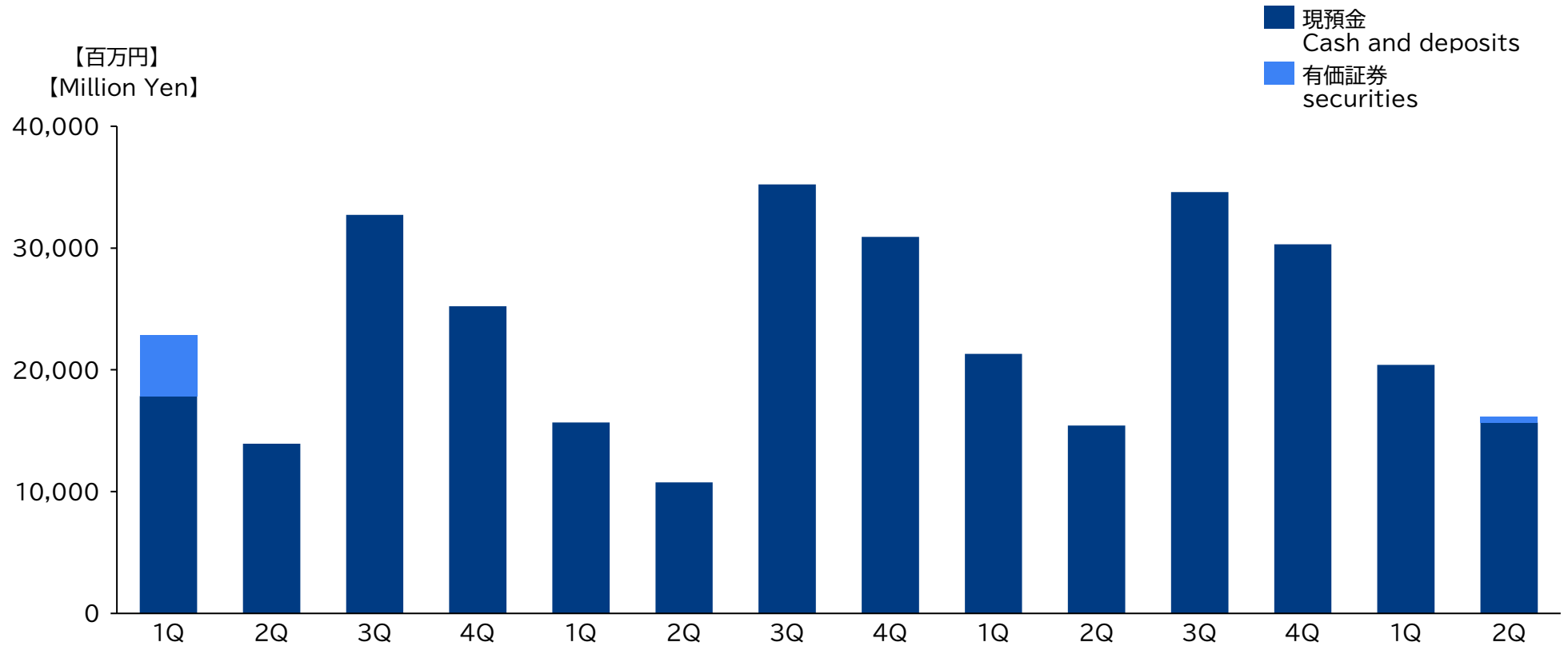
## Segment operating results by quarter

【百万円】【Million Yen】

		2024年9月期(FY2024)					2025年9月期(FY2025)					2026年9月期(FY2026)		
		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	
TTC	売上高 Net sales	9,563	20,869	6,682	8,304	45,419	9,547	19,366	7,837	10,339	47,090	11,095	22,466	33,562
	営業利益 Operating profit	703	4,956	(1,722)	(534)	3,402	716	4,278	(721)	71	4,344	1,976	5,798	7,774
	営業利益率 Operating profit margin	7.4%	23.8%	—	—	7.5%	7.5%	22.1%	—	0.7%	9.2%	17.8%	25.8%	23.2%
	経常利益 Ordinary profit	995	5,238	(1,482)	(513)	4,237	1,069	4,579	(79)	146	5,715	2,286	6,144	8,431
	経常利益率 Ordinary profit margin	10.4%	25.1%	—	—	9.3%	11.2%	23.6%	—	1.4%	12.1%	20.6%	27.3%	25.1%
ITS	売上高 Net sales	18,105	17,996	17,038	16,803	69,942	18,159	18,364	18,348	19,495	74,367	19,803	19,205	39,009
	営業利益 Operating profit	1,329	1,607	181	538	3,657	769	1,062	545	1,306	3,683	1,480	40	1,521
	営業利益率 Operating profit margin	7.3%	8.9%	1.1%	3.2%	5.2%	4.2%	5.8%	3.0%	6.7%	5.0%	7.5%	0.2%	3.9%
	経常利益 Ordinary profit	1,437	1,666	281	523	3,909	874	1,124	702	1,335	4,037	1,571	93	1,665
	経常利益率 Ordinary profit margin	7.9%	9.3%	1.7%	3.1%	5.6%	4.8%	6.1%	3.8%	6.8%	5.4%	7.9%	0.5%	4.3%

# 四半期別現金保有高

## Cash and deposits by quarter



	2023年9月期 (FY2023)				2024年9月期 (FY2024)				2025年9月期 (FY2025)				2026年9月期 (FY2026)	
現預金 Cash and deposits	17,848	13,943	32,728	25,226	15,686	10,766	35,235	30,927	21,308	15,421	34,594	30,310	20,407	15,673
有価証券 securities	5,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	499

## 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

**株式会社三菱総合研究所**

経営企画部 IR室

E-mail : [ir-info@ml.mri.co.jp](mailto:ir-info@ml.mri.co.jp)

URL : [www.mri.co.jp/](http://www.mri.co.jp/)

未来を問い続け、変革を先駆ける

**MRI** 三菱総合研究所